

# 日本研究・知的交流事業に必要な経費

## 欧州・中東・アフリカ交流事業費

### 1. 日本研究事業費

- (1) 日本研究ネットワーク強化（主催）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (2) 日本研究ネットワーク強化（助成）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (3) 日本研究機関支援〔欧州・中東・アフリカ〕

### 2. 人物交流事業費

- (1) 日本研究フェローシップ（学者・研究者 長期）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (2) 日本研究フェローシップ（論文執筆）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (3) 日本研究フェローシップ（学者・研究者 短期）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (4) 知的リーダー交流（招へい）〔欧州・中東・アフリカ〕

### 3. 催し等事業費

- (1) 知的交流会議（主催）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (2) 知的交流会議（助成）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (3) 人材育成グラント〔欧州・中東・アフリカ〕

欧州・中東・アフリカ交流事業費

1. 日本研究事業費 / (1) 日本研究ネットワーク強化 (主催) [欧州・中東・アフリカ]

学問分野を超えた日本研究者・研究機関相互の連携と協力を推し進め、各国・地域における中核的な知日層とわが国の長期的な関係を維持発展させるため、海外の日本関連学会や元日本留学生の組織化・活動を支援する。

合計額 2,482,380 円

	事業名	対象国	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	日本研究巡回セミナー	ウズベキスタン  ロシア	タシケント  モスクワ	ウズベキスタン日本人材開発センター  タシケント国立繊維・軽工業大学  モスクワ国立繊維大学		2010.10.09 ~ 2010.10.13	当該国における幅広い対日関心の喚起と、日本研究の活性化のために、織田晃（杉野服飾大学教授）と澤柳直志（デザイナー）を派遣し、「ユニバーサル・ファッション」をテーマに講演会を実施。日本のグローバルな知的貢献の事例として、日本社会における弱者や環境への眼差し、また、もの作りの伝統を紹介

欧州・中東・アフリカ交流事業費

1. 日本研究事業費 / (2) 日本研究ネットワーク強化 (助成) [欧州・中東・アフリカ]

国境・学問分野を超えた日本研究者・研究機関間の連携、相互協力を推し進めるべく、学会の横断的な組織化を支援する。

合計額 21,373,472 円

	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
1	英国日本研究協会(BAJS)	英国	2010.04.01 ~ 2011.03.31	英国日本研究協会の年次総会(ロンドン)について、日本からの基調講演者として参加する上野俊哉(和光大学教授)の旅費を支援(10.09.09~10)
2	北欧アジア研究研究所(NIAS)図書情報センター	デンマーク	2010.04.01 ~ 2011.03.31	ニアスリンク(NIAS Link: 北欧5カ国の大学・研究機関連合の図書館部門)への日本関連データベース購入費用の支援
3	ヨーロッパ日本研究協会(EAJS)	欧州地域区分困難	2010.04.01 ~ 2011.03.31	ヨーロッパ日本研究協会事務局運営及びウェブサイト・データベース作成・更新費を一部支援
4	フランス日本研究学会	フランス	2010.04.01 ~ 2011.03.31	「愛」をテーマにフランス日本研究学会第9回国際大会をパリにて開催(10.12.16~18)。大会開催費用として、交通費・滞在費等を支援
5	ロシア日本研究者協会	ロシア	2010.04.01 ~ 2011.03.31	学生論文コンクール、事務局経費、ウェブマガジン(Meet Japan)、教科書・紀要等出版助成
6	ハイファ大学	イスラエル	2010.04.01 ~ 2011.03.31	第9回イスラエル・アジア研究年次学会をハイファにて開催(10.04.26~27)
7	トルコ日本研究学会	トルコ	2010.04.01 ~ 2011.03.31	「2010年トルコにおける日本年」事業の一環として、1993年に発足し、現在約100名の会員がいるトルコ日本研究学会の「トルコ日本研究会議」(イスタンブール)開催を支援

欧州・中東・アフリカ交流事業費

1. 日本研究事業費 / (3) 日本研究機関支援 [欧州・中東・アフリカ]

各国において日本研究の中核的役割を担うべき単一・少数の機関に対し、日本研究事業の拡充・発展に必要な様々な支援を、包括的、集中的かつ中・長期的に行い、当該国の日本研究の基盤となる拠点機関の整備を進める。

合計額 59,157,261 円

	対象機関	対象国	期間	事業内容
1	国立アイスランド大学	アイスランド	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本研究分野の図書を寄贈
2	アイルランド国立大学コーク校	アイルランド	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本研究分野の図書を寄贈
3	ヴェネチア大学 (カ・フォスカリ大学)	イタリア	2010.04.01 ~ 2011.03.31	イタリア最大の同大学日本研究学部専属図書館の充実、「近代と現代日本における死と欲望」をテーマとする国際会議、「日本の近・現代宗教運動」に関する集中講義のため、島菌進 (東京大学教授) の客員教授派遣及び日本語・日本文学等の講義を担当する教員の雇用経費助成
4	エディンバラ大学	英国	2010.04.01 ~ 2011.03.31	「現代日本社会」「日本語」等の講義を担当する教員の雇用経費助成
5	ロンドン大学東洋アフリカ研究学院 (SOAS)	英国	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本経済分野の研究者を専任教員として雇用する経費を助成
6	バルセロナ自治大学通訳・翻訳学部	スペイン	2010.04.01 ~ 2011.03.31	「日本語」「日本文学」「日本のポップカルチャー」等の講義を担当する教員の雇用経費助成
7	ケルン大学	ドイツ	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本研究分野の図書を寄贈
8	ハイデルベルク大学	ドイツ	2010.04.01 ~ 2011.03.31	世界で初めて設置された日独語の通訳養成修士課程に対する支援の2年目。実践的な講義を担当する教員の雇用経費助成
9	ボン大学人文学部	ドイツ	2010.04.01 ~ 2011.03.31	馬場章 (東京大学大学院学際情報学府教授) を客員教授として派遣。「コンテンツビジネスと東アジア共同体」をテーマにした国際会議への支援をしたほか、日本研究分野の図書寄贈及びボン大学の研究者7名の訪日研修を支援
10	オスロ大学	ノルウェー	2010.04.01 ~ 2011.03.31	巽孝之 (慶応義塾大学教授) を日本から派遣し、集中講義及び国際会議を実施。また日本研究分野の図書も寄贈
11	パリ国立政治学財団	フランス	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本講座 (ジャパン・チェア) への支援。前期 (10~2月) に駒田泰士 (上智大学准教授) が、後期 (2~6月) に吉田徹 (北海道大学准教授) が集中講義を実施
12	ルーヴァン・カトリック大学 (EAJRS)	ベルギー	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本研究分野の図書を寄贈
13	タシケント国立東洋学大学	ウズベキスタン	2010.04.01 ~ 2011.03.31	客員教授として下斗米伸夫 (法政大学教授)、青木三郎 (筑波大学教授) を派遣。国際関係論及び文化と言語についての講義を実施。
14	ザグレブ大学哲学部	クロアチア	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本研究分野の図書を寄贈
15	コメニウス大学	スロバキア	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本研究分野の図書を寄贈
16	エオトヴェシ・ロラーンド大学	ハンガリー	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本語・日本文学関連の講義を担当する教員の雇用経費の助成

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	対象機関	対象国	期間	事業内容
17	ヴィタウタス・マグヌス大学	リトアニア	2010.04.01～2011.03.31	池上嘉彦（昭和女子大学教授）を客員教授として派遣。シンポジウム「ヨーロッパ・メディアにおいて表象された日本—その分析方法論と理論」及びその成果出版を助成。日本研究分野の図書を寄贈
18	ロシア極東国立総合大学付属東洋学大学	ロシア	2010.04.01～2011.03.31	ホワンチュク（同大学准教授）のモスクワにおける国内研修及び研究成果である『日本とロシア沿海州：相互理解への道』の出版助成
19	エルサレム・ヘブライ大学	イスラエル	2010.04.01～2011.03.31	堀田江理（日本近現代史研究者）を客員教授として派遣し、学部及び大学院生に対する政治学・歴史学に関する講義を実施
20	バグダッド大学文学部歴史学科	イラク	2010.04.01～2011.03.31	イラクにおける日本研究の維持・向上のため、イラク（エルビル市）にて日本—イラク間学術交流を行う会議を実施
21	テヘラン大学外国語・外国文学部	イラン	2009.09.01～2010.06.30	テヘラン大学日本語学科において翻訳論、日本思想論を担当する研究者の雇用経費助成
22	テヘラン大学外国語・外国文学部	イラン	2010.04.01～2011.03.31	五十嵐小優粒（大阪産業大学非常勤講師）及び近藤正憲（愛媛女子短期大学非常勤講師）を客員教授として直接派遣し、日本文化交流史及び日本語教授法等に関する集中講義を実施
23	テヘラン大学世界研究学部	イラン	2010.04.01～2011.03.31	モハマト・ナギザデ（Mohammed Naghizadeh：明治学院大学教授）を客員教授として直接派遣し、日本経済の講義を実施
24	ダマスカス大学	シリア	2010.04.01～2011.03.31	松尾昌樹（宇都宮大学国際学部准教授）を客員教授として直接派遣し、学部学生へ現代日本社会事情の講義及び研究論文の執筆指導を実施
25	バフチェシェヒル大学	トルコ	2010.04.01～2011.03.31	日本の建築、庭、デザイン等を中心とした図書を寄贈
26	アインシャムス大学外国語学部	エジプト	2010.04.01～2011.03.31	大学院生等に対して、今井雅晴（筑波大学教授）による文学批評論に関する講義及び遠隔論文指導を実施
27	カイロ大学政治経済学部アジア研究センター	エジプト	2010.04.01～2011.03.31	日本の政治経済に関わる導入的講義と専門性の高い講義を提供する日本研究集中講義を支援
28	プレトリア大学ゴードン経営学研究所	南アフリカ	2010.04.01～2011.03.31	新設される日本研究センターに、ビジネス関連書籍及びDVDを中心に図書寄贈を実施

欧州・中東・アフリカ交流事業費

2. 人物交流事業費 / (1) 日本研究フェローシップ (学者・研究者 長期) [欧州・中東・アフリカ]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 61,105,360 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	CENTONZE, Katja	カラブリア大学 非常勤講師	イタリア	早稲田大学演劇博物館	2009.06.13 ~ 2010.05.11	身体論と技術：舞台芸術から土方巽の舞踏へ。パフォーマンスとテキストにおける身体とメディアをめぐって
2	BRUCE, David Simon	ロンドンメトロポリタン大学 上級講師	英国	京都大学経済学部	2009.10.01 ~ 2010.09.30	グローバリズムと日本経済に関する図書執筆
3	GARDINER, Michael	ウォーリック大学 助教授	英国	青山学院大学	2009.12.14 ~ 2010.06.12	欧米の文学論における世界文学論と1920~1970年日本文学におけるモダニズム
4	GERMER, Andrea	ニューキャッスル大学 日本学 講師	英国	広島市立大学	2010.07.01 ~ 2011.06.30	日本とドイツの戦時ビジュアル・プロパガンダ：文化、民族、ジェンダーに関する比較
5	GERSTLE, Andrew	ロンドン大学東洋アフリカ学院 (SOAS) 教授	英国	立命館大学	2009.09.11 ~ 2010.09.10	十八世紀の女性向け教訓書とその春本パロディ
6	HANSEN, Paul Simon	ロンドン大学東洋アフリカ学院 (SOAS) 研究員	英国	国立民族学博物館	2009.06.14 ~ 2010.06.13	日本の都市生活におけるペットと家族の結びつき
7	PATESSIO, Mara	マンチェスター大学言語学部 講師	英国	お茶の水女子大学ジェンダー研究センター	2010.07.01 ~ 2010.09.12	長谷川時雨と近代日本女性史
8	STEGEWERNS, Dick	オスロ大学文化研究・東洋言語学部 准教授	オランダ	京都大学人文科学研究所	2011.01.15 ~ 2011.12.14	戦争の再演：戦後日本映画における自己と他者の表現
9	KAVALLARIS, Faidros	作曲家	キプロス	東京藝術大学	2010.12.01 ~ 2011.11.30	松風とオイディプス王・能と古代ギリシャ劇の歌詞、音楽及び構成
10	BORGGREEN, Gunhild	コペンハーゲン大学芸術・文化研究科 助教授	デンマーク	東京藝術大学音楽学部 音楽環境創造科	2011.02.01 ~ 2011.07.31	芸術と技術：日本のロボットの視覚文化
11	SCHOLZ, Stanca Emilia	トリア大学日本学科教授、日本学科長	ドイツ	早稲田大学演劇博物館	2010.10.01 ~ 2011.02.28	社会批判と現代日本における政治演劇の声
12	MIDFORD, Paul	ノルウェー科学技術大学 社会・政治学科 助教授	ノルウェー	同志社大学法学部	2010.07.20 ~ 2011.07.19	東アジアにおける多国間の安全保障協力—安心感を高める論理と日本のリーダーシップ
13	PEETERS, Bruno Henri Albert	セント・ルーカス大学 教授	ベルギー	東京大学大学院新領域創成科学研究科	2010.02.01 ~ 2011.01.28	高齢化、縮小化する社会状況における日本の都市計画の潜在性、転換の可能性及び再評価
14	PYANOVA, Elena Viktorovna	タシケント国立東洋学大学歴史学部 講師	ウズベキスタン	早稲田大学	2010.10.01 ~ 2011.07.30	近代日本研究：久米邦武の経験に学ぶ宗教、教育と進歩について

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
15	TUYCHIEV, Muchiddin	タシケント国立東洋学大学 研究員	ウズベキスタン	法政大学	2010.06.10 ~ 2011.05.31	日本と上海協力機構から考える、アフガニスタンの安全保障と安定への道
16	BEKES, Andrej	リュブリャナ大学 正教授	スロベニア	東京工業大学	2010.02.01 ~ 2010.09.30	南不二男による文の階層構造モデルの話し手・聞き手の確立論的言語能力モデルとしての再解釈：日本語会話における統語的共起のコーパス研究
17	SATO, Noriko	ブタペスト商科大学 准教授	ハンガリー	立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科	2010.05.23 ~ 2010.10.02	ハンガリーの日系企業における通訳者の役割－企業内通訳(者)の役割に対する期待と通訳者の職業意識－に関する研究
18	BATOR-LUKASIEWICZ, Joanna Maria	ポーランド科学アカデミー 上級准教授	ポーランド	東京工業大学大学院社会理工学研究科	2010.10.01 ~ 2011.09.30	おたく文化とそのジレンマ
19	MAJEWICZ, Alfred Franciszek	アダム・ミツキェヴィチ大学東洋研究所日文学科 正教授	ポーランド	埼玉大学教養学部	2011.01.10 ~ 2011.11.09	B.ピウスツキとW.シェロシェフスキの観た明治期の日本（百年後遠景）
20	STARECKA, Katarzyna Violetta	ワルシャワ大学 助教授	ポーランド	東京大学文学部・大学院人文社会系研究科	2010.02.17 ~ 2011.02.16	近・現代日本における愛国心教育の問題点
21	KOVALCHUK, Marina Konstantinovna	極東国立総合大学東洋学大学 助教授	ロシア	大阪大学大学院言語文化研究科	2009.07.05 ~ 2010.06.30	日清戦争期の日本の新聞に見るロシアとイギリス－『国民新聞』と『時事新報』の見解・比較的分析
22	STONOGINA, Yulia Borisovna	国際ビジネス・コミュニケーション協会ロシア支部 国際関係担当副会長	ロシア	新潟経営大学	2010.09.01 ~ 2011.03.15	日露ビジネスにおける現代社会・文化のアスペクト
23	BEJARANO, Shalmit	ピッツバーグ大学 美術・建築史学科	イスラエル	神奈川大学	2010.09.28 ~ 2011.09.27	伝承とカノン：近代画譜における耕作モチーフの検討
24	PASHAEI, Nastaran	ファララバン出版 翻訳者	イラン	北海道大学	2010.06.10 ~ 2010.12.09	『法華経』に関する芸術と曼荼羅及びその日本芸術・文化における位置づけに関する研究
25	SALEH, Adel Amin Mahmoud	カイロ大学日本語日本文学科 専任講師	エジプト	早稲田大学	2010.09.01 ~ 2011.08.31	世界における日本型の国語形成の位置づけ：欧米諸言語とアラビア語の対比において

欧州・中東・アフリカ交流事業費

2. 人物交流事業費 / (2) 日本研究フェローシップ (論文執筆) [欧州・中東・アフリカ]

人文・社会科学の研究者で博士論文作成のため来日する必要がある者を招へいする。

合計額 77,842,564 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	WALSH, Dermott	ライデン大学 博士課程	アイルランド	京都大学	2011.01.15 ~ 2012.03.14	「空」の問題と近代日本哲学の倫理
2	CLOSE, Natalie Frances	オーストラリア国立大学 博士課程	英国	上智大学	2010.06.13 ~ 2011.09.12	日本の都市の共同体による祭のアイデンティティと役割
3	SEIDL, Bernhard	ウィーン大学東アジア研究所 非常勤講師	オーストリア	東京国際大学	2009.08.17 ~ 2010.08.16	日本語は「回帰」するのか：日本のポップス曲歌詞に見る外来語使用の変化とその社会的意義について
4	SEIGER, Fiona-Katharina	シンガポール国立大学 博士課程	オーストリア	龍谷大学	2010.09.15 ~ 2011.01.14	日本とフィリピンにおける日系フィリピン人青年：移住の軌跡によるアイデンティティ構築と再構築
5	DOGLIA, Arnaud	ジュネーブ大学東洋学部 教員 助手/博士課程	スイス	東京外国語大学	2010.09.01 ~ 2011.08.31	現代日本における過去の構築と脱構築：日本の戦争残虐の集合的記憶の形成
6	HUTTER, Roland Ryu	チューリッヒ大学文学部 美術史学科東洋美術史研究室 博士課程	スイス	国立歴史民族博物館	2010.06.30 ~ 2011.08.30	輪島漆器が「日本一」と呼ばれる理由について
7	GUSTAFSSON, Karl Anders	ストックホルム大学 博士課程	スウェーデン	東京大学	2009.05.15 ~ 2010.07.11	日中関係の記憶とアイデンティティ：平和・戦争記念館の事例から
8	LOPEZ-VIDAL, Lluç	ボンペウ・ファブラ大学 講師	スペイン	慶応義塾大学	2009.05.17 ~ 2010.04.03	冷戦後の日中関係における安全政策、ヘッジへの戦略？
9	MORENO, Nieves	マドリッド自治大学 博士課程	スペイン	早稲田大学	2010.09.01 ~ 2011.08.31	日本映画における活弁の思考と定着 (1908-1915)
10	FERSTL, Katja	ミュンヘン大学 博士課程	ドイツ	東京大学	2009.06.13 ~ 2010.06.12	現代日本の消費行動における私的写真の役割：年齢・ジェンダーを特定した比較
11	LANGE, Julia Janine	ボッフム大学東アジア研究部 日本史学科 専任講師	ドイツ	一橋大学	2010.05.10 ~ 2011.05.09	移民、文化、統合：東京のラテンアメリカ人
12	MELZER, Juergen	プリンストン大学東アジア研究学部 博士課程	ドイツ	東京大学 大学院総合文化研究科	2010.09.01 ~ 2011.08.31	戦間期における日本の航空開発とドイツ
13	SCHMIDT, Jan	ボッフム大学東アジア研究部 日本史学科 専任講師	ドイツ	一橋大学	2009.10.06 ~ 2010.04.05	いわゆる「欧州大戦」—1914年から1938年まで日本における第一次世界大戦と列国戦時下の動員体制の受容と解釈

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
14	CASTEL, Coralie Yolande	ナンテール大学 博士課程	フランス	多摩美術大学	2010.09.01 ~ 2011.08.31	日本における自己表現—社会的な視点からの「プリクラ」研究
15	TAJAN, Nicolas	トゥルーズ第二大学 博士課程	フランス	京都大学	2011.03.15 ~ 2011.05.14	日仏ひきこもり比較研究
16	MOSKALYOV, Dmitriy Petrovich	ウクライナ国立科学アカデミー付属東洋学研究所大学院生	ウクライナ	北海道大学スラブ研究センター	2010.06.01 ~ 2010.06.30	現代日本語におけるモダリティの文末の複合表現
17	NAGORNA, Valentyna	交通経済工業国立大学 助手	ウクライナ	天理大学国際文化学部	2010.06.01 ~ 2011.05.31	多義語・同音異義語・オノマトペ語から見た日本語の構造と特性（対照的な分析視点から）
18	KAVEDZIJA, Iza	ザグレブ大学 研究助手	クロアチア	大阪大学	2009.09.17 ~ 2010.11.16	よき生活、理想の家—現代日本において変化している「グッド・ライフ」についての考え
19	MATOSEC, Matjaz	ユトレヒト大学人文学部 博士課程	スロベニア	立命館大学	2011.01.20 ~ 2011.07.19	オペラのカストラートと歌舞伎の女形の比較—声に着目して
20	PLSEK, Ivo	カリフォルニア大学 博士課程	チェコ	東京大学社会科学研究所	2010.09.01 ~ 2011.08.31	日本のエリートと戦後和解：1920年代から80年代にかけての政治の連続性
21	VASZKUN, Balazs	コルヴィヌス大学 博士課程	ハンガリー	早稲田大学	2009.10.01 ~ 2010.08.31	ネットワーク経済の構造と特徴：限界と利益
22	TODOROVA, Albena	ソフィア大学 非常勤講師	ブルガリア	東京大学大学院人文社会系研究科・文学部現代文芸論研究室	2010.08.01 ~ 2011.09.30	『アンナ・カレーニナ』と『或る女』における女性像の比較研究
23	GLUCH, Dariusz	ワルシャワ大学東洋学研究所 博士課程	ポーランド	東京大学大学院人文社会系研究科	2010.11.01 ~ 2011.12.31	テキストによる言語間コミュニケーションの実用論。日本語における和文と対照した漢文の問題
24	RUTKOWSKA, Iga Katarzyna	ワルシャワ大学東洋学部 博士課程	ポーランド	東京大学文学部・大学院人文社会系研究科	2009.09.30 ~ 2010.06.29	地芝居と中央歌舞伎比較研究。田舎における町人演劇
25	SONNENBERG, Katarzyna Anna	ヤギエロン大学 博士課程	ポーランド	お茶の水女子大学	2009.09.28 ~ 2010.11.27	樋口一葉の日記・作品における女性のイメージ
26	RUSU, Renata Maria	バベシュボヨイ大学 博士課程	ルーマニア	浜松学院大学	2009.07.05 ~ 2010.09.04	日本の神話や祭事における世界軸
27	KOROLEVA, Maria	モスクワ大学 博士課程	ロシア	早稲田大学法学学術院	2010.05.10 ~ 2011.02.09	現代日本における過去の構築と脱構築：日本の戦争残虐の集合的記憶の形成
28	LEBEDEVA, Ekaterina	ロシア極東国立人文大学 専任講師	ロシア	大阪大学大学院・言語文化研究科	2010.07.01 ~ 2011.08.31	日本語における慣用表現の発生と発達（通時的研究）—6～8世紀の歴史的記録と文学作品を焦点に—

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
29	TYZHINOVA, Natalia Alexandrovna	バイカル国立経済法科大学 博士課程	ロシア	京都大学大学院経営管理研究部	2009.08.28 ~ 2010.08.27	日本における生命保険
30	DOTAN, Oshrat	テルアビブ大学 博士課程	イスラエル	多摩美術大学	2009.09.05 ~ 2010.09.04	見えない世界へ：もの派における視覚と知覚の様相、1968～1971
31	ZWIGENBERG, Ran	ニューヨーク市立大学大学院センター 博士課程	イスラエル	広島市立大学国際学部	2009.06.26 ~ 2010.06.25	沈黙の記憶：広島平和祈念館
32	ATAY, Aysegul	アンカラ大学文学部日本語日本文学科 助手	トルコ	国立国語研究所	2009.05.31 ~ 2010.05.30	日本語のタ形とトルコ語の過去形
33	SAHIN, Esra-Gokce	ハーバード大学文学部社会人類学部 博士課程	トルコ	東京大学総合文化研究科	2010.09.01 ~ 2011.10.31	ユーモアの観点から見る社会事情
34	YAVUZ, Nilgun	アンカラ大学社会科学研究所言語学科外国語教育科 博士課程	トルコ	東京外国語大学	2010.08.15 ~ 2011.02.14	第二言語としての日本語及びトルコ語におけるスクランブル性習得の比較研究
35	EBEID, Ehab Ahmed	カイロ大学文学部日本語日本文学科 准講師	エジプト	京都大学大学院文学研究科	2009.07.17 ~ 2010.09.16	日本語とアラビア語の「トコロ性」
36	ELNOBY, Mohamed Hassan Mohamed	芸術アカデミー演劇高等研究所演劇批評学部 講師	エジプト	九州大学	2009.10.02 ~ 2010.12.01	1960年代の日本とエジプト演劇の比較研究：別役実とアルフレッド・ファッラーク
37	NOUR, Safaa Mahmoud Mohamed	カイロ大学文学部日本語日本文学科 助講師	エジプト	東京大学	2010.10.01 ~ 2011.11.30	日本とエジプトにおけるフェミニズム
38	SIALI, Nabila	モハメド5世大学法学部社会科学学科 博士課程	モロッコ	札幌学院大学	2010.06.08 ~ 2010.12.07	日本開発モデルにおける文化的様相

2. 人物交流事業費 / (3) 日本研究フェロシップ(学者・研究者 短期) [欧州・中東・アフリカ]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 13,072,341 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	NEGRI, Carolina	ナポリ大学「オリエンターレ」	イタリア		2011.01.27 ~ 2011.03.12	紫式部日記の翻訳と研究
2	LLOYD, Fran	キングストン大学 教授	英国		2010.09.01 ~ 2010.10.01	ダムタイプ：介入の芸術
3	MAUDE-ROXBY, Alice	キングストン大学写真学科 コースディレクター	英国		2010.06.22 ~ 2010.07.15	美学校－1969年以降の日本の前衛芸術教育の影響に関する調査

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
4	FERNANDEZ ENGUITA, Mariano	サラマンカ大学	スペイン		2010.06.16 ~ 2010.07.15	変化する社会の教育システム：日本とスペインのケース比較
5	SHIRAISHI, Minoru	バルセロナ自治大学	スペイン		2010.07.01 ~ 2010.08.28	日本美術における東アジア美術の影響
6	DIETCH, Marcel	オックスフォード大学政治・国際関係学部 博士課程	ドイツ		2010.09.20 ~ 2010.10.24	天然ガス製造協力の政治経済：カルテル化と市場力
7	SCHULZ, Evelyn	ミュンヘン大学日本センター 教授	ドイツ		2011.03.01 ~ 2011.04.27	現代日本における都市論—スローシティとコンパクトシティの発想を中心に
8	GALAN, Christian	トゥールーズ・ル・ミライユ大学	フランス		2010.09.08 ~ 2010.10.08	日本における学区制と教育改革
9	MARQUET, Christophe	国立東洋言語文化学院 (INALCO) 日本語・日本文化学部 学部長	フランス		2010.07.13 ~ 2010.09.09	大岡春卜（おおおか・しゅんぼく）の草稿本と肉筆絵画の研究
10	KITSNIK, Lauri	タリン大学	エストニア		2010.10.19 ~ 2010.12.12	日本文学の映画化
11	HANOVA, Marketa	プラハ国立美術館アジア館 学芸員	チェコ		2010.07.03 ~ 2010.07.25	チェコにおける浮世絵の見立について
12	MATOUSEK, Roman	ロンドンメトロポリタン大学 主任講師	チェコ	横浜国立大学経営学部	2010.07.18 ~ 2010.08.27	日本の銀行の効率性と金融政策態度について
13	GUREVICH, Tatiana Mikhailovna	モスクワ国立国際関係大学 主任教授/日本語学科長	ロシア		2010.10.28 ~ 2010.12.25	日本語で表す世界
14	DALIOT-BUL, Michal	ハイファ大学 准教授	イスラエル		2010.08.01 ~ 2010.09.28	トライバル・メディア、高まった現実性、観桜と親密：携帯小説のケース
15	ESENBEL, Selcuk	ボガジチ大学 教授	トルコ		2010.06.15 ~ 2010.08.12	山田寅次郎の研究

欧州・中東・アフリカ交流事業費

2. 人物交流事業費 / (4) 知的リーダー交流 (招へい) [欧州・中東・アフリカ]

諸外国の政治、経済、労働、メディア、教育等の各分野で影響力を有する人材を招へいし、日本側関係者との意見交換、当該分野での状況視察等の機会を提供する。

合計額 20,487,057 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ・事業内容
1	TRYPOLSKA, Galyna	ウクライナ国立科学アカデミー付属経済予測研究所 研究員	ウクライナ	京都大学大学院農学研究科	2010.05.31 ~ 2011.03.31	日本の農業セクターの潜在的エネルギーの利用：ウクライナ、バイオマス産業政策への教訓
2	RAKHIMOV, Mirzokhid	ウズベキスタ科学アカデミー歴史学研究所現代史・国際関係部 部長	ウズベキスタン	北海道大学スラブ研究センター	2010.03.03 ~ 2010.04.28	日本と中央アジア～多国間協力の現状と展望
3	SAIDKHODJAEVA, Malika Anvarovna	ウズベキスタン共和国科学アカデミー経済研究所投資・革新部 博士課程	ウズベキスタン	財団法人貿易研修センター	2010.07.15 ~ 2010.08.27	ウズベキスタンにおける省エネ戦略のマクロ経済的アспект (日本の省エネ戦略の調査：現行プログラムの発展と計画の経験)
4	BAKYTZHANOVA, Zhuldyz Mukhtarovna	教育科学省経済研究所 研究者	カザフスタン	中央アジア・コーカサス研究所	2010.07.31 ~ 2010.08.30	カザフスタンと日本の協力関係：グローバルな経済統合のもとでの発展の方法
5	JAVAKHISHVILI, Nino	トビリシ国立大学社会政治学科 心理学教授	グルジア	早稲田大学文学学術院	2010.09.25 ~ 2010.11.24	日本とグルジアの若者民族・宗教・政治姿勢に関する異文化比較
6	VISTOROPSKI, Nika	デロ出版社 記者	スロベニア	朝日新聞社	2010.10.16 ~ 2010.12.15	日本における女性の日常
7	MITROVIC, Dragana	ベオグラード大学政治学部 教授	セルビア	同志社大学	2010.06.11 ~ 2010.07.22	現代日本の政治経済
8	KRUDY, Tamas Geza	『ELLE HUNGARY』 編集者	ハンガリー	名古屋大学大学院教育発達科学研究科	2010.05.27 ~ 2011.07.18	現代日本社会における家族の役割—家庭と社会における女性の役割に焦点をあてて
9	TARROSY, Istvan	ペーチ大学アフリカ研究センター 准教授	ハンガリー	籠谷大学法学部	2010.11.07 ~ 2010.12.14	21世紀における国際的秩序の変化とアフリカ・アジアの協力を踏まえた日本とアフリカの関係
10	DUL, Robert Andrzej	ワルシャワ民族博物館 シニアキュレーター	ポーランド	国立文化財機構 東京文化財研究所	2010.09.21 ~ 2010.11.16	日本の現代文化、文化教育政策における無形文化遺産の役割
11	NAZARKO, Lukasz	ビャウイストック工科大学 研究・教育助手	ポーランド	東京大学生産技術研究所	2010.08.15 ~ 2010.09.30	イノベーションにおける科学技術予測法のインパクト
12	AHMETOVIC, Emina	エコボット トゥズラプロジェクトアシスタント兼コーディネーター	ボスニア・ヘルツェゴビナ	神戸大学大学院経済学研究科	2010.07.05 ~ 2010.08.29	日本の環境政策とその経済発展への影響
13	SPRUDS, Andris	リガ・ストラディン大学 ヨーロッパ学部 准教授	ラトビア	財団法人日本エネルギー経済研究所	2010.10.02 ~ 2010.11.14	ロシアのエネルギー政策の比較評価：ヨーロッパとアジアのベクトルから
14	PANZARU, Ioan	ブカレスト大学 学長	ルーマニア		2011.01.01 ~ 2011.03.31	日本の文化・教育機関の訪問、関係者との意見交換を実施

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ・事業内容
15	POPA, Viorel	ルーマニア国立地震災害 軽減センター 所長	ルーマニア	日本建築防災協会	2010.07.06 ~ 2010.08.16	日本における地震災害予防
16	ZAHID, Hidayatullah	大統領府 官房長顧問	アフガニスタン	財団法人日本エネルギー 経済研究所中東研究セン ター	2011.02.14 ~ 2011.02.25	日本の議会と行政システムの研究
17	SWIDAN, Rajaa	ナジャーハ大学 助教授	イスラエル	北海道大学大学院教育学 研究科	2010.10.24 ~ 2010.12.09	日本の人材開発：初等、中等、高等教育を統合 することで生じる影響について
18	AL-MANSHI, Hayder Mohammed Abdul-Hameed	バグダッド大学 講師	イラク	広島大学大学院国際協力 研究科開発科学専攻	2010.06.25 ~ 2010.08.24	環境状況・基準・態度の改善と整備に対する日 本の経験と実践的手順
19	POUR ROSTAMI, Nahid	テヘラン大学世界研究部 日本研究科 教授	イラン	拓殖大学国際学部	2010.07.15 ~ 2010.08.12	制度改革に伴う日本の経済分野における挑戦。 第二次世界大戦後の日本経済レビュー
20	ALJABER, Khalid Jamal	文化・芸術省青年総合課 付属文化・創造センター 理事	カタール	一橋大学	2010.09.14 ~ 2010.10.14	日本の文化と教育システム
21	HILMI, Hind Abbas	ハルツーム大学 准教授	スーダン	神戸大学大学院国際協力 研究科	2010.06.15 ~ 2010.07.15	南北包括和平合意（CPA）後のスーダンにおけ るメディアパフォーマンス
22	CORNELISSEN, Scarlett	ステレンボッシュ大学 准教授	南アフリカ	一橋大学大学院社会学研 究科	2010.07.19 ~ 2010.09.06	21世紀における日本の対南アフリカ経済政治協 力：動きと展望

欧州・中東・アフリカ交流事業費

3. 催し等事業費 / (1) 知的交流会議 (主催) [欧州・中東・アフリカ]

日本と諸外国の相互理解の促進と、より緊密な関係の構築、知的交流の推進を目的とした、国際的な知的共同事業 (国際会議、セミナー、ワークショップ等) を開催する。

合計額 29,186,157 円

	事業名	対象国	共催機関	期間	事業内容
1	シンポジウム「新しいMuseology—文化遺産と現代文化の融合を求めて」	英国	セインズベリー 日本芸術研究所	2010.09.13	マンガを活用して効果的に文化遺産を紹介した大英博物館の「縄文土偶展」や文化遺産を活用した「まちおこし」を進める青森県立美術館の事例を紹介するシンポジウム「新しいMuseology—文化遺産と現代文化の融合を求めて」を東京にて開催。美術館・博物館における展示手法のイノベーション、文化遺産と現代文化の融合、そして美術館・博物館の社会的に果たすべき役割やMuseology (美術館・博物館学) の新たな方向性について議論
2	ブリティッシュ・カウンシルとの社会起業に関する共同事業	英国	ブリティッシュ・カウンシル	2010.11.15 ~ 2010.11.17	「社会起業家支援『東アジア地域国際シンポジウム』(於:バンコク)への参加者派遣事業」として、ブリティッシュ・カウンシルとの共催で、日本の若手社会起業家15名をバンコクに派遣
3	国際シンポジウム「女性のエンパワーメント」	スペイン	セルバンテス文化センター東京  在日オランダ大使館  在日ノルウェー大使館	2010.06.12	女性のエンパワーメントについて、英国(1名)、オランダ(2名)、スペイン(3名)、ドイツ(1名)、ノルウェー(2名)から識者が集まり、日本側参加者(6名)と、経験と意見を交換するシンポジウムを実施
4	デザインの地方力	ドイツ	ベルリン日独センター  ヴィトラ・デザイン美術館	2010.05.22	日本とドイツにおける近・現代工業デザインにおける「地方」の力に注目し、首都/地方、ハイテク/ローテク、工業/工芸といった一見対立するものの調和を考え、地方の底力について今後の可能性を模索する会議を、ドイツ、ヴァイル・アム・ラインにあるヴィトラ・デザイン美術館の協力を得て開催
5	外交の再考:新たな方法論と挑戦	ドイツ	コンラート・アデナウアー財団	2010.08.31	ドイツのコンラート・アデナウアー財団と共催し、東京にて非公開討論および公開シンポジウム「外交の再考:新たな方法論と挑戦」を開催。韓国、中国、シンガポール、タイ、ドイツから各1名、日本から3名の専門家が参加
6	国際会議「異文化交流の視点から見た人間とロボットのインターフェース」	ドイツ	ベルリン日独センター	2010.12.07 ~ 2010.12.08	少子高齢化が進む日本とドイツにおいて、ロボットを生かした介護、看護に注目し、ロボット工学の可能性を検証。機械と人間のインターフェース、ロボットが高齢化問題に果たしうる役割の可能性、日常生活におけるロボット受容の成功例などを、日独比較の視点から議論する会議「異文化交流の視点から見た人間とロボットのインターフェース」を、ベルリンで開催。工学系の学者、研究者をはじめ、行政、社会科学系の学者、牧師など、ドイツから12名、日本から8名の参加者が討議

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	事業名	対象国	共催機関	期間	事業内容
7	平和のための文化イニシアティブの役割	西欧地域区分困難	ゲーテ・インスティトゥート	2010.05.28 ~ 2010.05.29	平和構築のために文化及び文化関連事業が果たしうる役割について、国際交流基金とゲーテ・インスティトゥートの事例を持ち寄り戦略的な対話を開催。国際交流基金による事例研究をもとに、双方の事業の紹介などを海外拠点職員やアーティストを交えて実施。2011年5月にゲーテ・インスティトゥートのサラエボ事務所開設10周年記念行事の一環としてサラエボにて開催
8	アルザス日欧知的交流事業／明治セミナーII	西欧地域区分困難	アルザス欧州日本学研究所(CEEJA)	2010.09.24 ~ 2010.09.25	欧州域内若手日本研究者による合宿形式のセミナー。アルザス欧州日本学研究所(CEEJA)との共催事業。欧州内の若手日本研究者のネットワーク構築と当該テーマにおける汎領域的研究の深化を目指す事業。広範な分野、専門性を持った有識者が参加しうるテーマとして前年に引き続き「明治」を設定し、御厨貴(東京大学教授)を講師として派遣
9	ソーシャル・ファーム／欧州関係者招へい及びシンポジウム	西欧地域区分困難		2011.01.30	欧州よりソーシャル・ファーム(社会的企業の一つであり、障害者など就業に不利のある人々の雇用を目的としながらも、一般の市場で活動する企業)関係者を招へいし、地方都市を視察後、東京にてシンポジウム「ソーシャル・ファームを中心とした日本と欧州の連携」を開催。英国(2名)、スウェーデン(1名)、デンマーク(1名)、フィンランド(1名)、セルビア(1名)及び日本から4名のパネリストが参加した。 欧州におけるソーシャル・ファームを国内に紹介するとともに、今後の連携の可能性を探る事業として実施
10	「多文化共生都市」セミナー	西欧地域区分困難		2011.01.19	2010年10月に実施されたスイスとイタリアの「インターカルチュラル・シティ(多文化共生都市)」視察の報告を行い、インターカルチュラル・シティの取り組みを参考に、東京における自治体の多文化共生の取り組みの現状と今後の課題を探るセミナーを実施。西川太一郎(荒川区長)、中山弘子(新宿区長)等が登壇
11	インターカルチュラル・シティと多文化共生	西欧地域区分困難	欧州評議会	2010.04.01 ~ 2011.03.31	平成21年度に実施した事業「インターカルチュラル・シティと多文化共生」のフォローアップとして、報告書『インターカルチュラル・シティと多文化共生』の増刷及び報告会を実施
12	講演会「後藤新平と日露関係のイメージ」	ロシア		2010.07.21	ワシーリー・モロジャコフ(MOLODIKOV, Vasiliĭ: 拓殖大学教授)を講師に招き、日露協調推進者としての後藤新平の知られざる業績と、日露関係のイメージ形成における貢献について講演会を実施
13	ロシア若手日本研究者短期グループ招へい	ロシア		2011.03.06 ~ 2011.03.13	ロシア国内の20~30代の日本研究者、日本でキャリアを積みロシア人研究者及び、日本人の若手研究者の三者による研究交流を行う目的で、ロシア国内の若手日本研究者計10名を招へい。訪日研修を実施。日本研究を将来の道として考えるロシアの若手研究者支援
14	マグレブ知的交流巡回セミナー	モロッコ、フランス		2011.01.31 ~ 2011.02.07	深川由起子(早稲田大学教授)、園部哲史(政策研究大学院大学)をモロッコ、フランスに派遣し、人材育成協力における日本のモデルについて両国でセミナーを実施

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	事業名	対象国	共催機関	期間	事業内容
15	公開シンポジウム「中東の今と日本： 私たちに何ができるか」	中東地域区分困難	東京外国語大学	2010. 11. 23	日本人ジャーナリストの拘束事件も起きた混迷が続くアフガニスタン、協議が再び始まった中東和平交渉、エネルギー及び環境分野で日本と交流ある湾岸諸国との関係をテーマに研究者・実務者計11名による公開シンポジウムを開催

欧州・中東・アフリカ交流事業費

3. 催し等事業費 / (2) 知的交流会議 (助成) [欧州・中東・アフリカ]

日本と諸外国の相互理解の促進と、より緊密な関係の構築、知的交流の推進を目的とした、国際的な知的共同事業 (国際会議等) に対し、経費の一部を助成する。

合計額 58,232,371 円

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
1	第20回日本語・韓国言語学会議	英国	オックスフォード大学	2010.04.01 ~ 2011.03.31	毎年行われている日本語・韓国言語学会議の第20回目を英国・オックスフォード大学にて開催。これまで米国で行われてきたが、今回初めて欧州にて実施
2	国際会議「日本—国際的な役割の増加」	英国	ウィルトン・パーク	2010.06.01 ~ 2010.11.30	英国外務省の外郭団体であるウィルトンパークの主催にて、国際会議「日本—国際的な役割の増加」を英国のウェスト・サセックスにて実施。日本の新政権の外交政策をテーマにした会議
3	英国「ビッグソサエティ」にみる社会イノベーションのアライアンス先端事例とは? ~ 英国の実例から社会イノベーションを加速する社会的仕組みを構想する 英国視察ミッション ~	英国	ブリティッシュ・カウンスル	2011.03.15 ~ 2011.03.23	社会イノベーションを目指す日本の企業・NPO・行政関係者等が英国の関係機関を視察訪問し、今後の協働に向けてコミュニケーションのプラットフォームを形成すべく、プレゼンテーションや意見交換等を実施
4	第10回記念災害危機管理会議~異なる文化環境の経験から	オーストリア	ウィーン農業科学大学水文・水力工学研究所	2010.04.01 ~ 2010.12.31	例年ウィーン農業科学大学と国際応用システム分析研究所が開催する災害リスクマネジメントに関する会議に、京都大学防災研究所が参画し、大規模国際会議をウィーンにて開催
5	グローバルヴィレッジのグローバル都市: 都市、国家及び国際システム	オーストリア	オーストリア国際問題研究所	2010.08.02 ~ 2010.12.31	グローバル化に伴う都市の役割について、国際関係、安全保障、政治等、多角的に検証。都市が国際関係のアクターとして勃興する現在、新たな「中世都市国家」への回帰か否かを検証する会議をウィーンにて開 (2010.10)
6	21世紀のアジアの安全保障の未来	オーストリア	ザルツブルク・グローバル・セミナー	2010.11.28 ~ 2010.12.03	国際交流基金が積極的に企画参画型助成をしているセミナーの平成22年度セッション。アジアの安全保障を広い分野 (国境紛争、災害、伝染病等) から捉える会議をザルツブルクにて開催
7	東アジア国際社会における統治権と人道的介入—歴史的遺産と新しいダイナミクス	オランダ	ライデン大学現代東アジア研究センター	2010.05.01 ~ 2010.09.12	欧州最古の日本学の伝統を持つ大学において、日本と中国圏を中心に扱う東アジアセンター (2006年設立) が当該地域の歴史と現在を扱うセミナーをハーグにて開催
8	国際ワークショップ「文化としての翻訳」	スウェーデン	ヨーテボリ大学文学部言語文学学科日本語科	2010.04.01 ~ 2010.12.31	日・独・北欧から10名の研究者をヨーテボリ大学に招へいし、2日間のワークショップを実施。比較文化、比較文学、翻訳の諸視点から文化・文学・翻訳部門の研究を発表

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
9	エコ（ロジカル）	スペイン	アジア・ヨーロッパ財団大学卒業生ネットワーク (ASEFUAN AISBL)	2010. 04. 01 ～ 2010. 09. 30	エコロジーと持続可能性に焦点を当てながら、アジアと欧州の共通関心問題について議論する会議を東京にて開催
10	2つの海の出会うところ—多元的な中東理解を求めて	スペイン 中東地域区分困難	日本中東学会	2010. 04. 15 ～ 2010. 12. 15	2010年7月にスペインにて行われる第3回中東研究世界大会へ、富田広士（慶應義塾大学教授）、ムハンマド・マグラーウィー（ムハンマド5世大学教授/モロッコ）、マルク・トゥタン（社会科学研究院研究員/フランス）ら日本・中東・欧米を含む中東研究者11名を派遣し、「スペインから北アフリカにまたがる世界の統一性と多様性」「日本における中東現代文学の受容」等、4パネルからなる総合部会にて研究成果を発信
11	インターカルチュラル・クロスオーバー、トランスカルチュラル・フロー：漫画	ドイツ	ケルン大学	2010. 04. 01 ～ 2011. 01. 31	日本研究の一環として日本の漫画を取り上げた会議。ケルン大学、京都精華大学が中心となり、NARUTOワークショップ、Ph.Dワークショップなど特定の関心層をターゲットとした企画も実施
12	MISHIMA! 三島由紀夫の知的ルーツと国際的インパクト	ドイツ	ベルリン自由大学	2010. 11. 01 ～ 2011. 01. 31	前年に支援した国際会議の記録集である『MISHIMA! 三島由紀夫の知的ルーツと国際的インパクト』の購入
13	国際会議「東アジアにおけるグローバリゼーション、アイデンティティと地域統合、1861～2011年：グローバル化の影響の再評価と東アジアの将来」	ドイツ	ハイデルベルク大学日本研究学科	2011. 01. 01 ～ 2011. 03. 31	日本・韓国・中国・米国・オーストリア・ベルギー・ドイツから研究者が集い、東アジアにおけるグローバリゼーション・アイデンティティと地域統合について議論する国際会議を開催
14	国際シンポジウム「高技能労働者の日本・ドイツへの国際移住、その現状と将来」	ドイツ	ハンブルク大学アジアアフリカ研究所	2011. 01. 01 ～ 2011. 03. 31	日独両国が高齢化社会を迎え人口減少や労働力不足に直面する中、海外からの高技能労働者受入のモデル・政策・法的枠組み、またその課題や将来について国際シンポジウムにて議論
15	ドイツ日本研究者会議—成果と展望	ドイツ	社団法人ドイツ東洋文化研究協会 (OAG)	2011. 03. 18 ～ 2011. 03. 20	日独修好150周年にあたる2010年にドイツ語圏日本研究者会議を明治大学において開催し、日独双方の学者がこれまでのドイツ語圏における日本研究の批判的総括を実施
16	村上春樹フェスティバル	ノルウェー	文学の家	2010. 06. 01 ～ 2010. 10. 01	村上春樹(作家)を日本から招へいし同氏自身による講演を行った他、村上作品に影響を受けた北欧の作家・アーティストによるレクチャー、映画上映、ステージトーク等のイベントからなるフェスティバルを実施

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
17	「異文化間都市：多様性ある将来」に関する会議	フランス	欧州評議会	2010.01.01 ～ 2010.12.31	2008年から始まった「異文化間都市」プログラム（異なる文化的背景を持つ住民の社会統合を目指す試み）の中間報告でもある参加都市の会議と視察を2010.10.20-10.23にイタリア、スイスにて実施。西川太一郎（荒川区長）山脇啓三（明治大学教授）ら、日本からは多文化共生に関わる7名の研究者・実務家が参加
18	森と景観	フランス	地方と景観文化協会	2010.04.01 ～ 2010.12.30	日本における森林と映画（黒沢清・河瀬直美・宮崎駿）の関係を分析することにより、その森林のイメージがひとびと、特に森林保護政策にどのような影響を与えてきたかを日仏の研究者とともに検討し、日仏の環境科学について議論する会議を2010.08.10-08.14にかけて実施
19	第2回日仏自治体交流会議	フランス	第2回日仏自治体交流会議実務準備委員会	2010.04.01 ～ 2011.03.31	姉妹・友好都市となっている日本とフランスの地方自治体が一堂に会し、「地方ガバナンスと持続可能な発展」をテーマとする会議を開催
20	「映画と写真連携の凍りついた枠」シンポジウム	フランス	文化人類学及び映像研究センター (PHANIE)	2010.04.01 ～ 2011.03.31	2010.04.09-04.10の2日間に渡り、パリのケ・ブランリー民族学博物館にて実施。社会学と文化人類学の研究において、いかに写真と映画が取り扱われるべきかについて議論
21	危機に面する若者一日欧比較	フランス	フランス国立社会科学高等研究院 (EHESS) 日仏財団	2011.03.14 ～ 2011.03.19	日・仏・欧の若者が置かれている雇用環境などの現状比較をテーマとするシンポジウム、ワークショップ等の実施。日本からは講師として、玄田有史（東京大学教授）や荻谷剛彦（オックスフォード大学教授）など社会学系の第一線で活躍する研究者が参加
22	川俣正 東京トークシリーズ「東京を考える、語るII」	西欧地域区分困難	一般社団法人 CIAN (Center for Interlocal Art Network)	2011.02.13 ～ 2011.03.31	東京という都市の有り様について、国内・海外からイーデン・コーキル（ライター）など専門家を招き、計3回にわたる対談を実施
23	国際シンポジウム「支援対象国の自主性を尊重した法整備支援の経験と展望：ウズベキスタンに対する日本の法整備支援を素材に一」	ウズベキスタン	タシケント国立法科大学	2010.05.01 ～ 2011.03.31	日本ウズベキスタン両国で法整備支援に携わってきた研究者・実務家が集まり、日本による法整備支援の目的、手法、成果と課題についての議論をタシケントにて実施
24	日本文学からの批評理論—記憶・想起・亡霊	エストニア	タリン大学	2010.06.01 ～ 2010.12.01	日本文学をフィールドとして、日本文学発の批評理論を発進する事業。2007年8月ハーバード大学イエンチン研究所における国際会議「日本文学からの批評理論」の継続企画
25	第6回ECPD国際会議「バルカン半島における国民和解、民族的・宗教的寛容と人間の安全保障」	セルビア	国連平和大学欧州平和発展研究所 (The European Center for Peace and Development : ECPD)	2010.01.01 ～ 2010.12.31	2005年より開催されている国連平和大学欧州平和発展研究所 (ECPD) 主催の国際会議の第6回目

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
26	日本研究に関する国際会議 ー日本21世紀の新しい挑戦ー	ポーランド	アダム・ミツキェヴィチ大学	2010.05.01 ～ 2011.03.31	ポーランドの日本研究者を中心とする会議。人文から社会科学まで多岐にわたるテーマの研究成果を発表
27	日本の言語的及び文化的アイデンティティ	ルーマニア	ブカレスト大学日本研究センター	2011.01.01 ～ 2011.03.31	2010年に開設されたブカレスト大学日本研究センターにて国際会議「日本の言語的及び文化的アイデンティティ」を開催
28	21世紀日ロ学長国際フォーラム	ロシア	特定非営利活動法人日本・ロシア協会	2010.06.20 ～ 2011.03.31	日本およびロシアを代表する大学の学長が集い、知のグローバル化時代における教育・研究面での協力関係構築と、相互理解の促進を目的に意見交換を実施。ロシア側21世紀委員会との共催により、モスクワにて開催。ロシア側はヴィクトル・A・サドーフニチ（モスクワ国立大学総長）が基調報告を行った他、計24機関が参加、日本側は濱口道成（名古屋大学総長）が基調報告を行った他、計25機関から参加があった
29	第2回日露セミナー「ロシアにおける資源開発、人口、環境：日本との関係における現在と未来」	ロシア	ロシア科学アカデミー地理学研究所	2010.07.01 ～ 2010.09.15	資源開発と環境、社会、経済との関連に関する新しい戦略に関する共同研究
30	レフ・トルストイ没後百年記念国際会議及びフォーラム	ロシア	日本ロシア文学会	2010.10.01 ～ 2011.03.31	レフ・トルストイ没後100周年を記念して、「クロスボーダーのトルストイ」をテーマに国際シンポジウムを世田谷区にて、市民フォーラムを熊本市にて実施(2010.11.6～10)。アメリカ・ロシア及び国内から気鋭の若手研究者を招き、研究者間の国際交流を図る一方、市民フォーラムは一般読者を対象に、演奏・朗読・映像なども交えた
31	ユーラシア回廊における都市成長と歴史性をめぐる国際政策フォーラム	トルコ	イスタンブール歴史都市会議実行委員会	2010.05.20 ～ 2010.05.23	日本建築学会が過去7年間にわたり実施してきた「東中アジア歴史都市会議」の成果を踏まえ、「ユーラシア回廊」における都市発展と持続性、歴史性と環境保全に関する国際会議をイスタンブールにて開催(2010.05)。日本・トルコを軸に、周辺国も交えた多国間会議。トルコ側協力者はイスタンブール市首都圏計画局。「2010年トルコにおける日本年」参加事業
32	第一回アフリカ日本研究学会	アフリカ地域区分困難	モロッコアジア研究協会	2010.04.01 ～ 2010.12.31	モロッコにて日本研究学会を開催。日本とモロッコ、日本と中東・アフリカの関係を、文化的、歴史的、経済的、技術的な側面から論じた

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
33	アフリカ×日本×世界～暴力を平和に変える空間～	アフリカ地域区分困難	金沢工業大学未来デザイン研究所	2010.05.01 ～ 2010.12.10	モザンビークの元文化相で建築家のジョゼ・フォルジャズ、ザンビア共和国の作家職人ムビータ・ムビータを招へいし、「暴力を平和化する新しい空間」をテーマにワークショップを実施。両氏は2010.10.31から2010.11.15にかけて京都・石見銀山・広島・兵庫を訪問し、各地で視察やワークショップを実施し、地元住民ら合計約300名が参加
34	第76回国際ペン東京大会2010記念・文学フォーラム・セミナー「環境と文学ーいま、何を書くか」	全世界区分困難	社団法人日本ペンクラブ	2010.09.30 ～ 2010.11.30	マーガレット・アトウッド (Margaret Atwood /カナダ) など世界各地より著名な作家が東京で一同に介し、「環境と文学」をテーマに、講演及びパネルディスカッションを実施。申請者は国際ペンの日本支部であり、本会議は国際ペンが毎年各国で行う会議の76回目
35	国際シンポジウム「都市の世紀を拓く」	全世界区分困難	大阪市立大学 (都市研究プラザ)	2010.11.01 ～ 2011.02.28	アートによる包摂型都市マネジメントに関する国際シンポジウム。基調講演はシャロン・ズーキン (ニューヨーク市立大学教授)、リリー・コン (シンガポール国立大学副学長/教授)、町村敬志 (一橋大学教授)

3. 催し等事業費 / (3) 人材育成グラント [欧州・中東・アフリカ]

日本と海外の市民青少年の相互理解を促進するため、日本の団体が実施または参加する事業に対し、旅費の一部を助成する。

合計額 3,828,823 円

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
1	カカオ産業における児童労働撤廃に向けた意見交換	オランダ ガーナ	特定非営利活動法人ACE (Action against Child exploitaion)	2010.05.18 ～ 2010.05.29	児童労働の撤廃を目指すACEのスタッフ2名が、世界カカオ財団のパートナーシップ・ミーティングに参加。併せて、カカオ生産地ガーナに赴き、ガーナの児童労働の現状を確認するほか、児童労働国際会議にも参加
2	手で見る絵画	フランス	視覚障害者芸術活動推進委員会	2010.07.31 ～ 2010.08.04	フランスより、視覚障害者のための絵画鑑賞教育に従事し先駆的な開発を続けている研究者アニタ・デル・ヴィット (Anita Del Vitto) 女史を招へいし、現代美術を含め鑑賞がもっとも難しいとされている絵画を視覚障害者が手で鑑賞する方法とフランス・ボンビドーセンターで実践しているワークショップなどについて講演会を開催

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
3	アルザス盛岡文化交流事業「鉄文化セミナー」	フランス	盛岡アルザス交流委員会	2010.12.02 ～ 2010.12.07	アルザス欧州日本学研究所（CEEJA）と盛岡地域の市民団体が協力し、日仏それぞれの地方中核都市である盛岡市、ストラスブール市、コルマル市とそれを取り巻く地域固有の風土と文化について、若い世代を中心とした研究成果の発表と意見交換を行うセミナーを開催
4	第8回 日本・イスラエル・パレスチナ合同学生会議	イスラエル パレスチナ	日本・イスラエル・パレスチナ学生会議	2010.08.08 ～ 2010.08.23	現地では交流の機会を持つことが難しいイスラエル・パレスチナ人学生を日本に招へいし、合宿形式による会議を開催。共同生活の中で、イスラエル・パレスチナの問題や日本国内の問題を議論することにより、三者間の相互理解を深め、「平和構築に貢献できる人材」の育成を目指す事業
5	大谷光瑞とブルサの交流―日土友好の一齣―	トルコ	特定非営利活動法人日本トルコ交流協会	2010.09.14 ～ 2010.09.19	「2010年トルコにおける日本年」の一環として、オスマン帝国の最初の首都ブルサにおいて、西本願寺の宗主であり、アジアとの友好関係にも尽力した大谷光瑞が絹工場を建設し産業協力を行った事績について、市民向けのシンポジウム・講演会・展示会を実施
6	日本・トルコ学生FORUM	トルコ	フォーラム・フォー・ザ・フューチャー	2010.09.20 ～ 2010.09.25	「2010年トルコにおける日本年」を機に、日本とトルコの学生が多岐分野にわたる交流プログラムを通じて相互理解を深め、今後同様のフォーラムを定期的で開催することも見据えて、両国の長期的な関係発展の基礎となる青少年間の信頼関係を築く事業
7	日本ルワンダ学生会議 第5回本会議 日本開催	ルワンダ	日本ルワンダ学生会議	2010.12.22 ～ 2011.01.06	日本の経済発展の歴史、現在の産業、文化、人々に関する会議を実施するとともに、技術先進国日本の経済を支える自動車・IT企業等を訪問。広島では平和都市として、都市再建に成功した歴史を紹介